



ふるさと森駐車場

山 域：扇ノ山
 場 所：鳥取県
 日 時：2006.4/16
 天 候：曇り/晴れ
 メンバー：石野・横小路・大塚・大本
 写真提供：大本
 装 備：山スキー

ふるさとの森から扇ノ山へ



雪壁を乗り越えて林道へ



埋まっている林道

やはり今年は雪が多い。ありがたい事にふるさとの森までは雪かきをしてくれていたなので車が入れた。先月は1.5km手前までだった。

7:03 予想通りに誰もきていない。林道への取り付きに雪壁1.5mを乗り越してシールを付けて薄ガスの中を順調よく進んで行く。林道周辺の積雪は去年の今頃よおりは約30cmは多いだろう。途切れもなく板を外すことも無かった。

8:00 夏道分岐からは、地図読みして山頂への稜線への最短尾根へ取り付くことにする(先月のコース)。しかし先月よりは雪解けもあり小尾根に取り付くにはややこしい所は木々の枝を掴みながらあくせくする。

8:15 小尾根に取り付くと落差20mはある滝が豪快に雪溶け見ずを滝壺に流し込んで水煙をあげているのが見渡せる。この滝は本沢で扇ノ山山頂へ続いている。その滝見尾根も乗越してほどなく枝沢に入り登り詰めると、1194ピーク手前の稜線(夏道)に上がる頃に



最後の急登



沢筋を滑降

はガスも少し上がってきたかと思うとすぐにまた視界がなくなる。

ここから山頂小屋は見えているのだが、このガスでは一向に見えない。

9:25 山頂小屋着

ガスも完全に晴れきらないので小屋内でGWの予定などを計画しながら雑談にふけていると、氷ノ山や鉢伏山が見え出すほどにガスが晴れてきた。

早速に南斜面のブナ林の中を快適に滑り込む事2本。空も完全に青空になりブナの巨木帯を縫ってのシュプールを描くのは何とも言えぬ瞬間だ。おまけに昨日までの降雨と今朝方の冷え込みで雪質もほどよくザラメ状態で申しぐんないである。

11:50 十分に堪能したあとは小屋へ帰り、冷えたビールで扇ノ山の山の神に乾杯！。山で食べるラーメンとビールは格別のうまさがある。

12:50 下山準備にかかっていると我々とふるさとの森からの山スキーヤー2人がやってきた。彼らの装備は何を入れているのかベッタンコのディバックのみである。例え地元民で山を知り尽くしていてもここは雪山、何が起こるか分からない！。最低限度のピバーク装備は持ってほしいものである。当然ながら我々のWhiteBirdの標準装備を見て驚いていた。

12:58 小屋を出ると何と、今まで晴れ渡っていたのにガスが降りてきて視界は100mほどである。各自笛で確認しながら高度を下げていく。しかし200mも落とせばガスはなく視界も良好である。

登ってきた沢を滑って行くと、あの2人のパーティも全く我々と同じトレースを登ってきていた。

13:45 ややししい杉林も無事にクリアして林道へ・・・。

ふるさとの森コースのショートピストンは少し物足りなさを感じるが、まだまだ十分に堪能できる扇ノ山である。



ガス中を滑降